

高槻市スポーツ推進計画

実施計画

(平成26年度～平成28年度)

平成28年度進捗状況報告書

平成28年8月

高槻市

目 次

1	策定の趣旨	P.1
2	計画期間	P.1
3	実施計画の見直し	P.1
4	掲載内容	P.2
5	進捗状況の概要	P.2
	【参考】スローガンと3つの柱・施策	P.3

○進捗状況一覧表

1	スポーツ推進のシステムづくり	P.4
	①総合型クラブの育成	P.4
	②スポーツ関連団体の充実	P.4
	③スポーツ教室の拡充	P.4
	④スポーツ情報の提供	P.4
	⑤スポーツの都市交流	P.4
2	スポーツ推進の人づくり	P.4
	①スポーツ推進委員の活用	P.4
	②スポーツボランティアの育成	P.4
	③子どものスポーツ推進	P.5
	④高齢者のスポーツ推進	P.5
	⑤障がい者スポーツの推進	P.5
	⑥指導者の育成	P.6
3	スポーツ推進の環境づくり	P.6
	①スポーツ施設の整備	P.6
	②スポーツ施設の管理	P.6
	③安全・安心の確保	P.6
	④学校開放事業の推進	P.7
	⑤健康とスポーツの推進	P.7
	⑥スポーツイベントの充実	P.7

1 策定の趣旨

この実施計画は、高槻市スポーツ推進計画（平成26年3月策定）で示した基本方針に基づき、担当課が展開していく施策や事業を総合的・体系的に示すものです。

市民の誰もが、いつでも、どこでも、生涯にわたってスポーツに親しむことができる、健康で豊かな暮らしを目指して、毎年進行管理を行い、計画の実効性確保に努めます。

2 計画期間

スポーツを取り巻く環境の変化や進行状況、時々課題に合わせて柔軟に対応するため、実施計画の期間は、平成26年度から平成28年度までの3年間としています。なお、実施計画は、ローリング方式（長期計画と実績の乖離を防ぐために、施策・事業の見直しや修正を定期的に行うこと）により毎年見直しを行います。

3 実施計画の見直し

実施計画の構成等を踏襲しつつ、平成27年度における事業の取組実績等を踏まえて、平成28年度事業計画の見直しを行いました。

4 掲載内容

施 策	本計画に掲げる基本方針を実現するための3つの柱（システムづくり・人づくり・環境づくり）に基づく施策を記載しています。	
事業名称	施策に対する事業を挙げています。	
事業概要	事業に対する具体的な事業内容を記載しています。	
担当課	施策（事業）の実現に必要な市の担当課を記載しています。	
実施年度	各年度の年次目標を表示しており、調査研究、検討、実施の表現を用いています。	
長期的課題・方向性	各事業における課題や長期的な方向性を記載しています。	
各年度	実 績	各事業が取り組んだ内容を記載しています。
	事業計画	長期的課題・方向性に向けて、当該年度において各事業が取り組む内容を記載しています。なお、事業が完了する場合は、斜線としています。
	方向性	当該年度における各事業の方向性を表示しており、拡充・成果維持・縮小・完了の表現を用いています。

（略称）

- ・公益財団法人高槻市みどりとスポーツ振興事業団 →「スポーツ振興事業団」
- ・総合型地域スポーツクラブ →「総合型クラブ」
- ・高槻市スポーツ団体協議会 →「スポーツ協議会」

5 進捗状況の概要

	事業数	方向性			
		拡 充	成果維持	縮 小	完 了
平成26年度 実施計画	49	14	35	0	—
平成27年度 実施計画	54	11	40	0	3
平成28年度 実施計画	54	7	42	0	5

平成27年度には「施設利用予約の新システムの構築」など2つの事業が完了しました。平成28年度は7事業において拡充の方向で取り組んでいきます。

【参考】スローガンと3つの柱・施策

スローガン	市民一人 ワン・スポーツへ向かって (Sports for Everyone)
-------	--

3つの柱	施 策
1 システムづくり	①総合型クラブの育成
	②スポーツ関連団体の充実
	③スポーツ教室の拡充
	④スポーツ情報の提供
	⑤スポーツの都市交流
2 人づくり	①スポーツ推進委員の活用
	②スポーツボランティアの育成
	③子どものスポーツ推進
	④高齢者のスポーツ推進
	⑤障がい者スポーツの推進
	⑥指導者の育成
3 環境づくり	①スポーツ施設の整備
	②スポーツ施設の管理
	③安全・安心の確保
	④学校開放事業の推進
	⑤健康とスポーツの推進
	⑥スポーツイベントの充実

	施策	事業No.	事業名称	事業概要	担当課	実施年度 第一次計画			長期的課題・方向性等	(参考)平成26年度実績	平成27年度実績		平成28年度事業計画
						H26	H27	H28			事業計画	方向性	
1 スポーツ推進のシステムづくり	①総合型クラブの育成	1	総合型クラブにかかる相談受付	スポーツ振興事業団と連携し、高槻市立総合スポーツセンターにおいて、総合型クラブにかかる相談等を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	相談窓口を設置し、総合型クラブにかかる相談等を行うとともに、業務内容について情報発信の強化を図る。 実施回数：24回	総合型クラブにかかる相談等を行うとともに、業務内容を市ホームページ等で周知し、情報発信の強化を図る。	成果維持	総合型クラブにかかる相談等を行うとともに、業務内容を市ホームページ等で周知し、情報発信の強化を図る。 実施回数：24回	成果維持
		2	既存総合型クラブへの支援	現在市内にあるNPO法人さくらスポーツクラブとNPO法人高槻北グリーンクラブに対して支援を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	現在市内にある2つの総合型クラブの会員の確保及び認知度を向上させるための支援を行う。 会員数：820人	市ホームページにおいて、総合型クラブに関する情報を掲載するなど、情報発信を行った。 会員数：669人	成果維持	市ホームページにおいて、総合型クラブに関する情報を掲載するなど、情報発信を行った。 会員数：669人	成果維持
	②スポーツ関連団体の充実	3	府・三島地区体育連合等との連携	府・三島地区体育連合等との連携を通じ、総合体育大会へ参加する等、競技力の向上を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	府・三島地区体育連合等と連携し、下記の大会へ参加した。 ・第38回三島地区総合体育大会 平成26年6月25日～7月27日 12種目29種別(総合2位) ・第68回大阪府総合体育大会 平成26年8月24日～9月7日 10種目19種別(総合7位) ・第64回大阪府市町村対抗駅伝競走大会 平成27年2月8日 高槻市から46名(5チーム)出場 ・第69回三島地区駅伝競走大会 平成27年2月15日 高槻市から89名(12チーム)出場	府・三島地区体育連合等と連携し、下記の大会へ参加した。 ・第39回三島地区総合体育大会 平成27年6月23日～7月26日 12種目29種別 ・第69回大阪府総合体育大会 平成27年8月23日～9月13日 12種目29種別 ・第65回大阪府市町村対抗駅伝競走大会 平成28年2月14日 高槻市から46名(5チーム)出場 ・第70回三島地区駅伝競走大会 平成28年2月11日 高槻市から106名(19チーム)出場	成果維持	府・三島地区体育連合等と連携し、下記の大会へ参加した。 ・第40回三島地区総合体育大会 平成28年6月26日～11月9日 14種目31種別 ・第70回大阪府総合体育大会 平成28年8月21日～9月11日 12種目29種別 ・第66回大阪府市町村対抗駅伝競走大会 平成29年2月12日 ・第71回三島地区駅伝競走大会 (未定)	成果維持
		4	各種スポーツ団体への支援	スポーツ協議会の実施する市長杯大会・教室等の事業や、高槻シティーハーフマラソン実行委員会等に対して支援する。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	各種スポーツ団体等に対し、各種大会や事業等が、円滑に実施できるよう支援を行う。	各種スポーツ団体・スポーツ協議会・高槻市民スポーツ祭実行委員会・高槻クロスカントリー大会実行委員会・高槻シティーハーフマラソン実行委員会に対して補助金を交付した。	成果維持	各種スポーツ団体・スポーツ協議会・高槻市民スポーツ祭実行委員会・高槻クロスカントリー大会実行委員会・高槻シティーハーフマラソン実行委員会に対して補助金を交付した。	成果維持
		5	スポーツ振興事業団との連携	スポーツ振興事業団との連携を推進し、協力団体としてスポーツイベントの充実を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	スポーツ振興事業団との連携を推進し、スポーツイベントの充実を図る。	協力団体として参加しているスポーツ振興事業団と連携し、高槻クロスカントリー大会・高槻シティーハーフマラソン等スポーツイベントの充実を図る。 また、スポーツ振興事業団との連携を強化し、スポーツ振興事業のさらなる充実を図る。	拡充	協力団体として参加しているスポーツ振興事業団と連携し、高槻クロスカントリー大会・高槻シティーハーフマラソン等スポーツイベントの充実を図る。 また、8月からスポーツ振興事業団との役割分担を明確にすることで連携を強化し、スポーツ振興事業のより一層の充実を図った。	成果維持
	③スポーツ教室の拡充	6	各種スポーツ教室の実施	市民がスポーツに親しみ心身の健康の維持増進のためのきっかけ作りとなるよう様々な教室を実施する。 また、各種スポーツ団体で実施しているスポーツ教室が円滑に実施できるよう支援を行う。	文化スポーツ振興課 公園課	実施	→	→	指定管理者と連携し、体づくり教室を下記のとおり実施した。 【市民プール】 開催回数：750回 延べ参加者数：7,750人 【総合スポーツセンター総合体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：5,668人 【古曽部防災公園体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：6,385人 また、各種スポーツ団体で実施しているスポーツ教室について、市広報・ホームページに掲載する等支援を行った。	指定管理者と連携し、体づくり教室を下記のとおり実施する。 【市民プール】 開催回数：750回 延べ参加者数：8,844人 【総合スポーツセンター総合体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：5,772人 【古曽部防災公園体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：6,435人 また、各種スポーツ団体で実施しているスポーツ教室について、市広報・ホームページに掲載する等支援を行った。	成果維持	指定管理者と連携し、体づくり教室を下記のとおり実施する。 【市民プール】 開催回数：750回 延べ参加者数：7,750人 【総合スポーツセンター総合体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：5,668人 【古曽部防災公園体育館】 開催回数：215回 延べ参加者数：6,385人 また、各種スポーツ団体で実施しているスポーツ教室について、市広報・ホームページに掲載する等支援を行った。	成果維持
		7	民間スポーツ教室の情報提供	市内の民間事業者が行うスポーツ教室の情報提供が行えるよう検討する。	文化スポーツ振興課	調査研究	→	検討	スポーツをするきっかけづくりとなるよう、市内の民間事業者が行うスポーツ教室の情報提供の方法について、他市へのヒアリングをする等、調査研究を行った。	スポーツをするきっかけづくりとなるよう、市内の民間事業者が行うスポーツ教室の情報提供の方法について、引き続き調査研究を行う。	成果維持	スポーツをするきっかけづくりとなるよう、市内の民間事業者が行うスポーツ教室の情報提供の方法について、引き続き調査研究を行う。	成果維持
	④スポーツ情報の提供	8	施設利用予約の新システムの構築	次期施設利用予約システムについて、市民の利便性が高いシステムを構築する。	文化スポーツ振興課	調査研究	検討	検討	スポーツ施設を気軽に利用できるよう、より利便性が高い予約システムを構築する。	次期施設利用予約システムについて、他市へのヒアリング等を行い、調査研究を行う。	成果維持	次期施設利用予約システムについて、他市との情報交換及び状況調査を行い、利便性が高いシステムを検討する。	完了
		9	市広報・ホームページによる情報提供	目的別に様々なスポーツ情報が得られるよう、情報の集約を行い、情報入手の利便性の向上を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	市広報やホームページにおけるスポーツに関する情報の内容を充実させ、市民ニーズに合わせた情報提供を行う。	市広報やホームページで各種大会や教室等の情報を発信し、またスポーツ協議会のホームページが充実するよう支援した。	成果維持	市広報やホームページで各種大会や教室等の情報が充実するよう支援する。	成果維持
	⑤スポーツの都市交流	10	スポーツ活動を通じた都市交流の促進	(公財)高槻市都市交流協会と連携し、都市交流の促進を図る中で、姉妹都市や他市町村とのスポーツ交流を行う。	文化スポーツ振興課 秘書課	実施	→	→	姉妹都市及び関係団体等と連携し、姉妹都市等への訪問及び姉妹都市等からの来訪時、スポーツ交流の機会の提供や交流支援に努める。 【協会実施事業】 ＜訪問支援＞2件 ＜来訪支援＞2件	(公財)高槻市都市交流協会へ助成し、姉妹都市等とのスポーツ交流を通じた幅広い市民交流の促進に努める。 【協会実施事業】 訪問時：交流支援 来訪時：受入対応及びイベント交流事業を通じたスポーツ交流の機会の提供	成果維持	(公財)高槻市都市交流協会へ助成し、姉妹都市等とのスポーツ交流を通じた幅広い市民交流の促進に努める。 【協会実施事業】 ・訪問時：交流支援 ・来訪時：受入対応及びイベント交流事業を通じたスポーツ交流の機会の提供	成果維持
11		スポーツイベントを通じた交流の強化	マラソン等のスポーツイベントを通じて、地域を越えた参加者を募集し、友好と親善を深めるよう市民交流の強化に努める。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	各種団体との連携を推進し、スポーツイベントを通じて、市民交流の強化に努める。	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、鳥根興益田市の市民を高槻シティーハーフマラソン全国大会に市民選手団を派遣し、また高槻シティーハーフマラソンへ益田市民を招待した。	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、鳥根興益田市の市民を高槻シティーハーフマラソンへ招待する。 また、マラソン大会の充実を図るため、他市との相互協力を行う。	成果維持	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、鳥根興益田市の市民を高槻シティーハーフマラソンへ招待する。 また、マラソン大会の充実を図るため、和歌浦バイサイドマラソン(和歌山市)に市民選手団を派遣する。	拡充
2 スポーツ推進のしくみづくり	①スポーツ推進委員の活用	12	地域事業の充実	高槻市スポーツ推進委員協議会と連携し、地域ニーズを把握して体力測定等、地域に密着した事業の充実を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	高槻市スポーツ推進委員と連携し、地域ニーズを把握して地域に密着した事業の充実を図る。	高槻市スポーツ推進委員と連携し、市内小学校等で体力測定会やファミリースポーツの集い、ドッチボール大会等地域事業を実施した。	成果維持	高槻市スポーツ推進委員と連携し、市内小学校等で体力測定会やファミリースポーツの集い、ドッチボール大会等地域事業を実施した。	成果維持
		13	主催事業の充実	スポーツ振興事業団と連携し、親子リズム体操の集い等高槻市スポーツ推進委員協議会が主催する事業の充実を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	市民ニーズを把握し、高槻市スポーツ推進委員協議会が主催する事業の充実を図る。 ・親子リズム体操の集い 日時：平成26年6月7日 参加者数：186人 ・チャレンジ・ザ・ウォーク 日時：平成26年10月19日 参加者数：343人 ・キスポール講習会 日時：平成26年9月20日、10月18日、11月15日、12月20日 参加者数：152人 ・たつきキスポール大会 日時：平成27年2月14日 参加者数：126人	下記のとおり、高槻市スポーツ推進委員協議会の主催事業を実施した。 ・親子リズム体操の集い 日時：平成27年6月6日・27日 参加者数：332人 ・チャレンジ・ザ・ウォーク 日時：平成27年10月18日 参加者数：373人 ・ニュースポーツ教室 日時：平成27年9月12日、12月12日 参加者数：337人 ・ニュースポーツの集い 日時：平成28年2月14日 参加者数：164人	拡充	下記のとおり、高槻市スポーツ推進委員協議会の主催事業を実施する。 ・親子リズム体操の集い 日時：平成28年6月4日・18日 参加者数：332人 ・チャレンジ・ザ・ウォーク 日時：平成28年10月16日 参加者数：373人 ・ニュースポーツ教室 日時：平成28年9月10日、12月10日 参加者数：337人 ・ニュースポーツの集い 日時：平成29年2月18日	成果維持
	14	研修の充実	近畿スポーツ推進委員研究協議会へ参加する等、高槻市スポーツ推進委員の指導力の向上を目指して研修の充実を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	高槻市スポーツ推進委員の指導力の向上のため、研修会への参加を促進する。	下記のとおり、研修会へ参加した。 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成26年9月25日・26日 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成27年2月5日・6日 ・大阪府スポーツ推進委員協議会研修会 日時：平成26年9月5日 ・三島地区スポーツ推進委員研修会 日時：平成26年7月12日 また、資質の向上のため、ニュースポーツの研究や審判講習の受講等の研修を行った。	下記のとおり、研修会へ参加する。 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成27年11月12日・13日 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成28年2月5日・6日 ・大阪府スポーツ推進委員協議会研修会 日時：平成27年9月5日 ・三島地区スポーツ推進委員研修会 日時：平成27年7月11日 また、資質の向上のため、ニュースポーツの研究や審判講習の受講等の研修を行う。	成果維持	下記のとおり、研修会へ参加する。 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成28年11月17日・18日 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会 日時：平成29年2月3日・4日 ・大阪府スポーツ推進委員協議会研修会 日時：平成27年9月3日 ・三島地区スポーツ推進委員研修会 日時：平成28年7月11日 また、資質の向上のため、ニュースポーツの研究や審判講習の受講等の研修を行う。	成果維持
	15	ホームページ等による情報発信	高槻市スポーツ推進委員の活動について、市ホームページの内容の充実を図り、情報発信の強化に努める。	文化スポーツ振興課	検討	実施	→	→	市ホームページ等の媒体を通じ、高槻市スポーツ推進委員協議会の活動報告や啓発活動を行う。 また、市ホームページを通じて情報発信を行うための検討を行った。	市ホームページの内容の充実を図り、高槻市スポーツ推進委員協議会の活動報告や啓発活動を行う。 また、市ホームページ内容の充実を図り、情報発信を行った。	成果維持	市ホームページにおいて、「高槻市スポーツ推進委員だより」の電子版を掲載し、情報発信を行った。 また、市ホームページ内容の充実を図り、情報発信を行った。	成果維持
	16	ボランティア情報の提供	大規模イベント等にかかるボランティア情報を集約し、実際に活動できる場の情報提供に努める。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	市広報及びホームページの媒体を通じ、大規模イベント等にかかるボランティア情報の提供に努める。 ・高槻シティーハーフマラソン大会 日時：平成27年1月18日 募集人数：60人	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、下記のとおりスポーツボランティアの募集を行った。 ・高槻シティーハーフマラソン大会 日時：平成28年1月24日 募集人数：50人	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、下記のとおりスポーツボランティアの募集を行った。 ・高槻シティーハーフマラソン大会 日時：平成28年1月24日 募集人数：50人	成果維持	高槻シティーハーフマラソン実行委員会と連携し、下記のとおりスポーツボランティアの募集を行った。 ・高槻シティーハーフマラソン大会 日時：平成29年1月22日	成果維持

	施策	事業No.	事業名称	事業概要	担当課	実施年度 第一方針			長期的課題・方向性等	【参考】平成26年度実績	平成27年度実績		平成28年度事業計画			
						H26	H27	H28			事業計画	方向性	事業計画	方向性		
2 スポーツ推進の取り組み	⑤障がい者スポーツの推進	32	障がい者向けスポーツ教室の実施	障がい者スポーツ指導員の資格を有する指導者を配置し、スポーツ施設での障がい者スポーツ教室を実施する。	文化スポーツ振興課公園課	実施	→	→	指定管理者と連携し、障がい者向けスポーツ教室を実施するとともに、事業内容を充実させ、参加者数の増加を図る。	指定管理者と連携し、下記のとおり障がい者向けスポーツ教室を実施する。 【市民プール】 ・身体障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：176人 ・肢体不自由児者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：236人 ・知的障がい児親子スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：439人 ・知的障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：355人 【総合スポーツセンター総合体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：478人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：315人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：49人 【古曽部防災公園体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：444人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：94人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：20人	指定管理者と連携し、下記のとおり障がい者向けスポーツ教室を実施する。 【市民プール】 ・身体障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：165人 ・肢体不自由児者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：233人 ・知的障がい児親子スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：568人 ・知的障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：357人 【総合スポーツセンター総合体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：568人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：246人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：46人 【古曽部防災公園体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：580人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：71人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：45人	指定管理者と連携し、下記のとおり障がい者向けスポーツ教室を実施する。 【市民プール】 ・身体障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：165人 ・肢体不自由児者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：233人 ・知的障がい児親子スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：568人 ・知的障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：357人 【総合スポーツセンター総合体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：568人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：246人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：46人 【古曽部防災公園体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：580人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：71人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：45人	指定管理者と連携し、下記のとおり障がい者向けスポーツ教室を実施する。 【市民プール】 ・身体障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：165人 ・肢体不自由児者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：233人 ・知的障がい児親子スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：568人 ・知的障がい者スイミング 開催回数：30回 延べ参加人数：357人 【総合スポーツセンター総合体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：568人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：246人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：46人 【古曽部防災公園体育館】 ・障がい児親子体育教室 開催回数：20回 延べ参加人数：580人 ・障がい児者スポーツ教室 開催回数：20回 延べ参加人数：71人 ・障がい者スポーツ講習会 開催回数：年間5回 延べ参加人数：45人	成果維持	成果維持	
		33	公認スポーツ指導者資格講習会への参加促進	(公財)日本体育協会等が公認するスポーツ指導者資格講習会への参加の奨励を各スポーツ団体に行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	スポーツ団体協議会と連携し、加盟団体に対して公認スポーツ指導者資格講習会への参加を奨励する。	スポーツ団体協議会事務所に公認スポーツ指導者資格講習会のチラシの配架を行い、加盟団体に対して公認スポーツ指導者資格講習会への参加を奨励する。	スポーツ団体協議会事務所に公認スポーツ指導者資格講習会のチラシの配架を行い、加盟団体に対して公認スポーツ指導者資格講習会への参加を奨励する。	スポーツ団体協議会事務所に公認スポーツ指導者資格講習会のチラシの配架を行い、加盟団体に対して公認スポーツ指導者資格講習会への参加を奨励する。	成果維持	成果維持		
		34	指導者向け講習会の実施	スポーツ振興事業団と連携し、高槻スポーツ大学等スポーツの指導・運営に携わる方を対象とした講習会を実施する。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	スポーツ振興事業団と連携し、高槻スポーツ大学等スポーツの指導・運営に携わる方を対象とした講習会を実施する。	スポーツ振興事業団と連携し、スポーツの指導・運営に携わる方を対象とした講習会を下記のとおり実施する。 ・高槻スポーツ大学：10回/年 延べ参加者数：164人	スポーツ振興事業団と連携し、スポーツの指導・運営に携わる方を対象とした講習会を下記のとおり実施する。 ・高槻スポーツ大学：10回/年 延べ参加者数：113人	スポーツ振興事業団と連携し、下記のとおり実施する。 ・高槻スポーツ大学：10回/年 延べ参加者数：113人	スポーツ振興事業団と連携し、スポーツの指導・運営に携わる方を対象とした講習会を下記のとおり実施する。 ・高槻スポーツ大学：10回/年 延べ参加者数：113人	成果維持	成果維持	
35	情報提供の充実	公認スポーツ指導者資格に関する様々な情報を集約し、提供コーナーの活用を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	公認スポーツ指導者資格に関する様々な情報を集約し、提供の充実を図る。	スポーツ情報コーナーや各スポーツ施設情報コーナーにおいて、公認スポーツ指導者資格に関するチラシの配架を行う。	スポーツ情報コーナーや各スポーツ施設情報コーナーにおいて、公認スポーツ指導者資格に関するチラシの配架を行う。	スポーツ情報コーナーや各スポーツ施設情報コーナーにおいて、公認スポーツ指導者資格に関するチラシの配架を行う。	スポーツ情報コーナーや各スポーツ施設情報コーナーにおいて、公認スポーツ指導者資格に関するチラシの配架を行う。	成果維持	成果維持			
3 スポーツ推進の環境づくり	①スポーツ施設の整備	36	南大橋運動広場の防球ネットフェンスの設置	安全性向上のため、南大橋運動広場に防球ネットフェンスを設置し、既存スポーツ施設の機能の拡充を図る。	文化スポーツ振興課	実施	/	/	南大橋運動広場に防球ネットフェンスを設置し、利用者の安全性を確保する。	利用者の安全性を確保するため、平成27年3月に南大橋運動広場に防球ネットフェンスを設置した。	完了	/	完了			
		37	青少年運動広場の夜間照明の設置	既存施設の多目的利用を図るため、青少年運動広場に夜間照明を設置する。	文化スポーツ振興課	実施	/	/	青少年運動広場に夜間照明を設置し、利用者の利便性を向上させる。	市民サービスの向上を図るため、平成27年2月1日に青少年運動広場に夜間照明を設置した。	完了	/	完了			
		38	市民プール入退場システムの改修	市民の利便性を向上するため、市民プール入退場システムの改修を行う。	文化スポーツ振興課	実施	/	/	市民プールの入退場システムを改修することで、利用者の利便性を向上させる。	利用者の利便性の向上を図るため、平成26年10月1日より新しい入退場システムを導入した。	完了	/	完了			
		39	堤運動広場体育館耐震改修工事	耐震診断調査及び耐震設計に基づき、堤運動広場体育館の耐震工事を実施する。	文化スポーツ振興課	実施	/	/	耐震診断調査及び耐震設計に基づき、耐震工事を実施する。	耐震診断調査及び耐震設計に基づき、耐震工事を実施する。	拡充	耐震診断調査及び耐震設計に基づき、耐震工事を実施した。	完了	完了		
		40	総合スポーツセンターテニスコート改修	経年劣化が激しいコート改修し、また夜間照明設備の設置について検討を行う。	文化スポーツ振興課	検討	/	実施	総合スポーツセンターテニスコートを改修し、利用者の利便性を向上させる。	総合スポーツセンターテニスコートについて、経年劣化が激しいコート改修及び夜間照明設備の設置について検討を行うため、改修設計を行う。	成果維持	総合スポーツセンターテニスコートについて、経年劣化が激しいコート改修及び夜間照明設備の設置について検討を行うため、改修設計を行った。	拡充	総合スポーツセンターテニスコートについて、改修工事を行う。		
3 スポーツ推進の環境づくり	②スポーツ施設の管理	41	命名権（ネーミングライツ）の検討	スポーツ施設にかかる命名権（ネーミングライツ）の導入に向けた検討を行う。	文化スポーツ振興課	検討	→	→	スポーツ施設にかかる命名権について、調査研究を進め、導入に向けた検討を行う。	スポーツ施設にかかる命名権について、他市への照会を行い、調査研究を行った。	成果維持	スポーツ施設にかかる命名権について、引き続き調査研究を行う。	スポーツ施設にかかる命名権について、引き続き検討を行った。	成果維持	スポーツ施設にかかる命名権について、他市への照会等を行い、調査研究を行う。	
		42	小学校運動場夜間照明管理事業	桃園小学校及び阿武山小学校の夜間照明の管理運営を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行う。	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行った。 延べ利用者数：9,117人	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行う。	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行った。 延べ利用者数：8,120人	成果維持	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行う。	市民が安全・安心に施設が利用できるような管理運営を行う。	
		43	スポーツ施設の計画的な維持管理	利用者の利便性を向上し、安全・安心に利用できるよう、適切な施設の整備を行う。	文化スポーツ振興課公園課	→	/	→	適切な施設の維持管理を行うほか、経年劣化している施設、設備について、計画的な修繕及び改修を行う。	下記のとおり、市内スポーツ施設の整備を行う。 【総合スポーツセンター】 ・総合体育館屋上屋根等防水工事 ・総合体育館バスケット装置改修 ・陸上競技場4種公認更新工事 【古曽部防災公園】 ・野球場スコアボード改修 【萩谷総合公園】 ・野球場スコアボード改修 ・テニスコート改修設計業務委託 【市民プール】 ・屋上屋根防水工事 ・駐車場手摺改修	下記のとおり、市内スポーツ施設の整備を行った。 【総合スポーツセンター】 ・総合体育館屋上屋根等改修その他工事 ・総合体育館バスケット装置改修 ・陸上競技場4種公認更新工事 【古曽部防災公園】 ・野球場スコアボード改修 【萩谷総合公園】 ・野球場スコアボード改修 ・テニスコート改修設計業務委託 【市民プール】 ・外部改修その他工事 ・可動床A床改修 ・コージェネレーションシステムD点検 ・ボイラー改修 ・温度調節器改修	下記のとおり、市内スポーツ施設の整備を行う。 【総合スポーツセンター】 ・テニスコート改修工事 ・非常用放送設備改修 ・自動火災報知機改修 【萩谷総合公園】 ・野球場化粧外壁撤去工事 【市民プール】 ・可動床A床改修 ・コージェネレーションシステムD点検 ・ボイラー改修 ・温度調節器改修	成果維持	成果維持		
		44	スポーツ施設のAED設置及び適切な管理	利用者が施設を安全・安心に利用できるよう青少年運動広場等にAEDを設置（旧：スポーツ施設のAED設置）	文化スポーツ振興課	実施	→	→	利用者の安全性の確保のため、全てのスポーツ施設にAED設置し、適切に管理を行う。	青少年運動広場及び南大橋運動広場、西大橋テニスコートにAEDを設置し、市内すべてのスポーツ施設にAEDの設置を行った。	スポーツ施設に設置されたAEDの適切な管理を行う。	成果維持	スポーツ施設に設置されたAEDの適切な管理を行った。	スポーツ施設に設置されたAEDの適切な管理を行う。	成果維持	スポーツ施設に設置されたAEDの適切な管理を行う。
3 スポーツ推進の環境づくり	③安全・安心の確保	45	救命講習会の実施	市民に対し、救命講習会を実施し、AEDの使用方法等、応急手当の普及啓発に努める。	消防部 警防救急課	実施	→	→	心肺機能停止傷病者に対するバイスタンダーによる心肺蘇生法（CPR）の実施率50%を目標として応急手当普及啓発活動を実施していく。	下記のとおり、講習会を実施した。 ・普通救命講習：113回 延べ2,661人（うち2,057人に修了証を交付） ・上級救命講習：2回 延べ56人 ・応急手当普及員講習：2回 延べ46人 ・救命入門コース：3回 延べ69人 ・その他の講習：32回 延べ841人	成果維持	下記のとおり、講習会を実施した。 ・普通救命講習：97回 延べ2,338人 ・上級救命講習：2回 延べ59人 ・応急手当普及員講習：2回 延べ62人 ・救命入門コース：1回 35人 ・その他の講習：41回 延べ1,181人	成果維持	下記のとおり、講習会を実施した。 ・普通救命講習：97回 延べ2,338人 ・上級救命講習：2回 延べ59人 ・応急手当普及員講習：2回 延べ62人 ・救命入門コース：1回 35人 ・その他の講習：41回 延べ1,181人	成果維持	下記のとおり、講習会を実施した。 ・普通救命講習：97回 延べ2,338人 ・上級救命講習：2回 延べ59人 ・応急手当普及員講習：2回 延べ62人 ・救命入門コース：1回 35人 ・その他の講習：41回 延べ1,181人
		46	安全講習会の実施	スポーツ協議会と連携し、各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施する。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	スポーツ協議会と連携し、各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施する。	スポーツ協議会と連携し、下記のとおり各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施した。 ・「熱中症」その予防と対応日時：平成27年7月11日 場所：市民会館南側会議室 参加者数：70名	スポーツ協議会と連携し、下記のとおり各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施する。 ・「熱中症」その予防と対応日時：平成27年7月11日 場所：市民会館207号室 参加者数：52名	成果維持	スポーツ協議会と連携し、下記のとおり各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施した。 ・「熱中症」その予防と対応日時：平成27年7月11日 場所：市民会館207号室 参加者数：52名	成果維持	スポーツ協議会と連携し、下記のとおり各スポーツ団体を対象とした安全講習会を実施した。 ・「熱中症」その予防と対応日時：平成27年7月11日 場所：市民会館南側会議室2階	
		47	スポーツ安全保険への加入奨励	スポーツ大会の主催者に安全・安心に事業実施ができるようスポーツ安全保険への加入奨励を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	スポーツをする全ての人々が安全・安心にスポーツ活動ができるよう、スポーツ安全保険への加入促進を行う。	下記のとおり、スポーツ安全保険の加入申込書の配架を行った。また、市の広報紙やホームページにおいて、加入を奨励する掲載を行った。 配架数：約100部 配布場所：市役所1階・8階、総合スポーツセンター、古曽部防災公園、萩谷総合公園、堤運動広場	加入申込書を市内各所に配布するとともに、市ホームページでスポーツ安全協会のページを案内するなど加入促進を行う。	成果維持	加入申込書を市内各所に配布するとともに、市ホームページでスポーツ安全協会のページを案内するなど加入促進を行う。	成果維持	加入申込書を市内各所に配布するとともに、市ホームページでスポーツ安全協会のページを案内するなど加入促進を行う。	
		48	安全の確保に関する情報の提供	ストレッチ等のスポーツ事故の予防や事故対応にかかわる情報を集約し、情報の提供を行う。	文化スポーツ振興課	調査研究	→	→	スポーツをする全ての人々が安全・安心にスポーツ活動ができるよう、情報の収集・提供を行う。	スポーツ安全協会が発行している「救急ハンドブック」をスポーツ情報コーナー等に配架し、スポーツ現場における救急処置等についての情報提供を行う。 また、スポーツ協議会と連携し、各種スポーツ団体へ熱中症指標計を貸し出すとともに、熱中症の注意喚起を行う。	スポーツ安全協会が発行している「救急ハンドブック」をスポーツ情報コーナー等に配架し、スポーツ現場における救急処置等についての情報提供を行う。 また、スポーツ協議会と連携し、各種スポーツ団体へ熱中症指標計を貸し出すとともに、熱中症の注意喚起を行う。	成果維持	スポーツ安全協会が発行している「救急ハンドブック」をスポーツ情報コーナー等に配架し、スポーツ現場における救急処置等についての情報提供を行う。 また、スポーツ協議会と連携し、各種スポーツ団体へ熱中症指標計を貸し出すとともに、熱中症の注意喚起を行う。	成果維持	スポーツ安全協会が発行している「救急ハンドブック」をスポーツ情報コーナー等に配架し、スポーツ現場における救急処置等についての情報提供を行う。 また、スポーツ協議会と連携し、各種スポーツ団体へ熱中症指標計を貸し出すとともに、熱中症の注意喚起を行う。	

	施策	事業No.	事業名称	事業概要	担当課	実施年度			長期的課題・方向性等	(参考) 平成26年度実績	平成27年度実績		平成28年度事業計画	
						H26	H27	H28			事業計画	方向性		
3 スポーツ推進の環境づくり	④学校開放事業の推進	49	学校体育施設の活用	地域住民のスポーツ振興を図るため、各小中学校の学校開放運営委員会と連携し、学校体育施設を開放して利用の促進を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	市立小・中学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、青少年の健全育成や生涯スポーツの推進を図る。	各学校開放運営委員会へ業務を委託し、小学校40校、中学校18校の運動場・体育館を地域住民へ開放した。 開放日数：16,362日 延べ利用者数：624,710人	各学校開放運営委員会へ業務を委託し、小学校40校、中学校18校の運動場・体育館を地域住民へ開放した。 開放日数：16,782日 延べ利用者数：651,191人	各学校開放運営委員会へ業務を委託し、小学校40校、中学校18校の運動場・体育館を地域住民へ開放した。 開放日数：16,782日 延べ利用者数：651,191人	各学校開放運営委員会へ業務を委託し、小学校40校、中学校18校の運動場・体育館を地域住民へ開放した。 開放日数：16,782日 延べ利用者数：651,191人	
		50	主催事業の充実	各小中学校の学校開放運営委員会と地域が協力し、地域スポーツ大会や体力づくり教室等の主催事業の充実を行う。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	学校開放運営協議会と連携し、ホームページ等を通じて、地域スポーツ大会や体力づくり教室等の情報を提供し、主催事業の充実を図る。	各小中学校の学校開放運営委員会と地域が協力し、主催事業を実施した。 実施回数：126回	独自のホームページを作成し、主催事業についてPRする等情報発信の強化を図るとともに、学校開放事業の啓発活動を行う。	独自のホームページを作成するため調査研究を行った。また、各小中学校の学校開放運営委員会と地域が協力し、主催事業を実施した。 実施回数：129回	独自のホームページを作成し、主催事業についてPRする等情報発信の強化を図るとともに、学校開放事業の啓発活動を行う。	成果維持
	⑤健康とスポーツの推進	51	身近なスポーツ環境の整備	ハイキングコースの整備やウォーキング・サイクリング等が身近に親しめるような環境を整える。	文化スポーツ振興課 産業振興課 健康づくり推進課	実施	→	→	ハイキング協議会と連携し、市民が安心してハイキングができるようコースの整備を行うとともに、市民が気軽にウォーキングやサイクリングに親しめる環境を整備する。	【ハイキング】 市内10コースについて、ハイキング協議会に維持管理を委託し、ハイキングコースの整備を行った。 【ウォーキング・サイクリング等】 ・交流人口増加に向けた取組として、平成24年度に作成したサイクリングマップ富田編を増刷し、主要観光施設へ配付するほか、歴史街道推進協議会や阪急京都線沿線観光光あるき実行委員会と連携したウォーキングイベントを開催した。 ・市バスの停留所、次の停留所までの距離や消費カロリー等を記載した路面表示を貼付し、また、血圧・体重の記録、歩数の測定記録、ランキング等、継続利用を促す機能を備えたスマートフォン用アプリケーションの提供を開始するなど、市民が日常生活で気軽にウォーキングに親しめる環境を整備する「市バスのスマートウォーク事業」を実施した。	【ハイキング】 市内10コースについて、ハイキング協議会に維持管理を委託し、ハイキングコースの整備を行う。 【ウォーキング・サイクリング等】 交流人口の増加をめざし、摂津峡周辺地域のウォーキングルートを設定するほか、歴史街道推進協議会や阪急京都線沿線観光光あるき実行委員会と連携したウォーキングイベントを開催する。また、引き続き「市バスのスマートウォーク事業」を実施する。	【ハイキング】 市内10コースについて、ハイキング協議会に維持管理を委託し、ハイキングコースの整備を行った。 【ウォーキング・サイクリング等】 交流人口の増加を目指し、摂津峡周辺地域のウォーキングルートを新たに1ルート設定し、ルート上のサイン5箇所を新設・更新した。 観光協会や歴史街道推進協議会、阪急京都線沿線観光光あるき部会と連携したウォーキングイベントを開催した。 市バスの停留所、次の停留所までの距離や消費カロリー等を記載した路面表示を貼付し、また、血圧・体重の記録、歩数の測定記録、ランキング等、継続利用を促す機能を備えたスマートフォン用アプリケーションの提供をするなど、市民が日常生活で気軽にウォーキングに親しめる環境を整備する「市バスのスマートウォーク事業」を実施した。	【ハイキング】 市内10コースについて、ハイキング協議会に維持管理を委託し、ハイキングコースの整備を行う。 【ウォーキング・サイクリング等】 摂津峡周辺地域のウォーキングルート上に必要なサインの設置を行う。 そのほか、観光協会や歴史街道推進協議会、阪急京都線沿線観光光あるき部会と連携したウォーキングイベントを開催する。 引き続き「市バスのスマートウォーク事業」を実施する。	成果維持
		52	高槻ますます元気体操の推進	高槻ますます元気体操を実施し、健康行動の定着化を積極的に推進する。	長寿いきがい課	実施	→	→	高槻ますます元気体操の実施拠点を市内全域に拡大していく。	様々な機会を活用して、リニューアル作成した高槻ますます元気体操DVD等の教材活用を促し、普及啓発を図った。	高槻ますます元気体操を実施する市民グループを募集し、継続して取り組み続けていけるよう支援を行うとともに、自治会へ説明するなど普及啓発を図る。	高槻ますます元気体操を実施する市民グループを募集し、継続して取り組み続けていけるよう支援を行うとともに、自治会へ説明するなど普及啓発を図る。 また、市内500か所の医療機関・歯科医院に体操啓発リーフレットを配布し、受診された高齢者への案内を促す。	高槻ますます元気体操を実施する市民グループを募集し、継続して取り組み続けていけるよう支援を行うとともに、自治会へ説明するなど普及啓発を図る。 また、市内500か所の医療機関・歯科医院に体操啓発リーフレットを配布し、受診された高齢者への案内を促す。	拡充
	⑥スポーツイベントの充実	53	大規模スポーツイベントの充実	高槻市民スポーツ祭、高槻シティハーフマラソン、高槻クロスカントリー大会のスポーツイベント内容の充実を図る。	文化スポーツ振興課	実施	→	→	各実行委員会との協働により、幅広い世代がスポーツに親しめるような事業展開を図り、事業参加者数の増加を図る。	各実行委員会との協働により、事業内容の充実を図り、下記のとおり事業を実施した。 ・高槻市民スポーツ祭 日時：平成26年10月13日 参加者数：台風接近のため中止 ・高槻シティハーフマラソン大会 日時：平成27年1月18日 参加者数：6,843人（申込者数：8,035人） ・高槻クロスカントリー大会 日時：平成27年3月8日 参加者数：1,720人（申込者数：1,881人）	各実行委員会との協働により、下記のとおり事業を実施し、新しい種目を追加する等内容の充実を図る。 ・高槻市民スポーツ祭 日時：平成27年10月12日 参加者数：8,300人 ・高槻シティハーフマラソン大会 日時：平成28年1月24日 参加者数：6,710人（申込者数：8,066人） ・高槻クロスカントリー大会 日時：平成28年3月13日 参加者数：1,412人（申込者数：1,575人）	各実行委員会との協働により、下記のとおり事業を実施し、新しい種目を追加する等内容の充実を図る。 ・高槻市民スポーツ祭 日時：平成28年10月10日 ・高槻シティハーフマラソン大会 日時：平成29年1月22日 ・高槻クロスカントリー大会 日時：平成29年3月12日	成果維持	
		54	トップアスリート及びトップチームとの連携	関西大学アイスアリーナ市民開放事業や、プロ野球公式戦の開催等を通じて、市民がトップアスリートと触れ合う機会を提供する。また、スベランツァFC大阪高槻と相互連携を図り、市内外での情報発信を行う。	文化スポーツ振興課 政策経営室 営業広報室	実施	→	→	さまざまなトップアスリート及びトップチームとの連携を推進し、市民がトップアスリートと触れ合う機会を創出するとともに、市内外での情報発信を行う。	【オリックス・パファローズとの連携】 ・ウエスタン・リーグ公式戦（2軍） 「オリックスvs阪神」 試合後、親子キャッチボール等市民開放イベントを実施 日時：平成26年7月5日・6日 場所：萩谷総合公園野球場 入場者数 3,129人 【久保田智之氏との連携】 ・来年度の「久保田智之CUP高槻少年野球大会」の実施に向けて、プレ大会を実施した。 日時：平成27年2月7日・8日 場所：古曽部防災公園野球場 【関西大学アイスアリーナに関する連携】 ・関西大学アイスアリーナ市民開放事業 75回実施 【スベランツァFC大阪高槻との連携】 ・相互の広報媒体を活用した情報発信 ・市HP「ボンジョルノスベランツァです」の更新（随時更新） ・職員を対象にした「スベランツァ×はにたん」 ポロシャツ等の斡旋 ・コラボレーショングッズの企画	【オリックス・パファローズとの連携】 ・ウエスタン・リーグ公式戦（2軍） 「オリックスvs広島」 試合後、サイン会等市民開放イベントを実施 日時：平成27年7月4日・5日 場所：萩谷総合公園野球場 入場者数 2,797人 【久保田智之氏との連携】 ・「第41回高槻市長杯秋季野球大会学童1部兼第1回久保田智之カップ野球大会学童1部」及び「親子わくわくベースボールの集い」を実施した。 日時：平成27年12月13日 場所：古曽部防災公園野球場 参加：24チーム・420名 【関西大学アイスアリーナに関する連携】 ・関西大学アイスアリーナ市民開放事業 75回実施 【スベランツァFC大阪高槻との連携】 ・相互の広報媒体を活用した情報発信 ・市HP「ボンジョルノスベランツァです」の更新（随時更新） ・職員を対象にした「スベランツァ×はにたん」ポロシャツ等の斡旋	【オリックス・パファローズとの連携】 ・ウエスタン・リーグ公式戦（2軍） 「オリックスvs阪神」 試合後、サイン会等市民開放イベントを実施 日時：平成28年7月2日・3日 場所：萩谷総合公園野球場 【久保田智之氏との連携】 ・「第42回高槻市長杯秋季野球大会学童1部兼第2回久保田智之カップ野球大会学童1部」及び「親子わくわくベースボールの集い」を実施する。 日時：平成28年8月28日～12月10日 場所：萩谷総合公園野球場等 【関西大学アイスアリーナに関する連携】 ・関西大学アイスアリーナ市民開放事業 74回実施 【コノミヤ・スベランツァ大阪高槻との連携】 ・公式戦の後援 【カンパ大阪との連携】 ・市民応援デーの周知等	成果維持	